



## 学校を支える、教職員を応援する

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

各学校には「職員名簿」があります。その名簿は、校長、教頭、事務職員、教諭、養護教諭というように、「職名順」で作成されています。仕事柄、その職員名簿をよく目にする機会がありますが、その度に「ありがたいな」と思うことがあります。なぜなら、学校教育の最前線に立ち、奮闘している教頭、事務職員、教諭、養護教諭の皆さんの姿が見えるからです。そして、もう一つ、「管理人」、「事務生」、「学習指導員」、「学習支援員」、「教員業務支援員」の皆さんの姿が見えるからです。

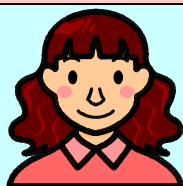
学校は、教職員と学びの場を支える人たちの姿があって初めて、回っていく（機能していく）のだと思います。今回は、学校の日常を支え、教職員を応援してくれている皆さんにスポットを当てました。なお、イラストはイメージです。御容赦ください。



「管理人」の松原聖一さんです。毎朝、校舎内の廊下や玄関のモップがけをしていただいています。「子どもたちや教職員の皆さんが、毎日、気持ちよく学校での生活を始めてほしい」、そんな松原さんの温かい思いが伝わってきます。校舎内外の破損箇所の修繕、校舎・校庭周辺の草刈りなど、子どもたちが安全に安心して学べる環境整備に尽力してくれています。



「事務生」の鈴木浩子さんです。毎朝、児童玄関に立ち、登校してくる子どもたちを温かい笑顔で迎えていただいています。学級通信や授業、宿題等で子どもたちに配付されるプリント等の印刷を全部して、学級毎に仕分けしていただいています。また、スクールバスの乗車確認表の整備、花壇の管理、消毒液等の配付など、多岐にわたる業務を担って、子どもたちや私たちを支えていただいています。



「学習指導員」の大橋直実さんです。第1学年から第3学年の授業に入り、各学級担任と連携して子どもたちの学びを支えていただいています。授業中、子どもが困り感をもつとすぐに駆け付けて、その子どもに寄り添って支援し、困り感を取り除いてくれます。また、毎週水曜日、「絵本の読み聞かせ」を通して、子どもたちに本の素晴らしさを伝えていただいています。



高橋乃枝瑠さんです。6月まで本校に「学習支援員」として勤務していました。現在はノルウェーで研修中ですが、これまで5回「ノエノル通信」を発行し、子どもたちにノルウェーの生活様式を伝えてくれました。そして、先日は第4学年、第6学年と遠隔システムを活用して授業を実施し、子どもたちに英語を話すことの楽しさや、国際的な視野をもつことの大切さを実感させてくれました。



「教員業務支援員」の山本尊子さんです。私たちが快適に仕事ができるよう職員室や校長室の環境を整備していただいています。また、時間を見つけては、校舎内外を回り、気が付いたことがあればすぐに行動に移してくれます。家庭科室の床や玄関周りの美化など、本当に助かってます。職員室に不安な顔をして入ってくる子どもに対する声かけが温かく、子どもの心を和らげてくれます。